

# 飼育員は見たべあ！

のほりべつ  
クマ牧場通信  
20号

2019年  
2月1日

発行

のほりべつ  
クマ牧場  
動物課

## 若きクマたち初出産なるか



まるまると肥えたクマたち=写真  
上からシズク、マリン、ツムギ

### 産室に初々しい 反応見せる

12月23日から5頭のメスグマが産室へ入りました。5頭中4頭のクマが初めての産室入りです。

最初に入室したのは初めてのマロン(6歳)でした。初めて行く場所でも怖がることなく、難なく入室できました。出産経験のあるトルエ(20歳)は慣れたようすです入室しました。マロンと同じく初

めて産室に移動するマリン、シズク、ツムギ(6歳)は、訪れたことのない場所に警戒していました。好物のサケで誘導するも、栄養状態がよくお腹が空いていないのか、うまくいきませんでした。仕切り直して、マリンとツムギの入室を試みました。警戒しつつもマリンが入室すると、ツムギも続けて入室しました。シズクは最も警戒していました。時間をかけて無事入室することができました。

### 出産に向け 新たな取り組み

野生のエゾヒグマは冬ごもりに向けて、秋から食欲が増します。のほりべつクマ牧場でも、一昨年末までクマたちの食欲が増加する秋ごろに餌を多く与えていました。繁殖には栄養状態が深くかかわっ

ていることが既に知られています。妊娠の可能性のあるメスグマはほかのクマ以上に気を使って餌を与えていました。しかし、秋ごろから餌の量を増やしても、冬までに十分に栄養を蓄えられていない個体があることが分かりました。

今回の繁殖個体は7月ごろから餌量を他のクマと区別して管理しました。7月ごろはガツガツと勢いよく食べていましたが、秋も終盤になると常にお腹がいっぱいの様子でした。餌に好物のどんぐりを混ぜて与えても残すほどです。そのおかげで、これまでになくらい栄養状態がよくなりました。

産室に入つてすぐ、取り組みの成果と思われる反応が見られました。5頭に念のため餌と※氷を与えました。手をつけられない日が続いたのです。これは栄養状態が最適であった結果と考えられます。敷かれたワラの上で全く動かずに寝ており、野生のクマの冬ごもりに近い状態となりました。冬ごもりのようになった個体は刺激をできるだけ与えないよう、そっと観察のみ行っています。

今年シズクとマロンの産室に観察カメラを設置しています。観察カメラの映像は常にモニターで確認することができ、録画もして

います。個体によって状態がさまざまですが、出産しそうな雰囲気漂っています！

※氷は気温が氷点下のため、飲み水の代用。



観察カメラに映る巣を整えているシズク=1月7日、産室

### エブリデイ！ エンリッチメント

#### 無数の穴から・・・

円柱上の木材に穴を開け、その中にジャムやハチミツなどクマの好物を入れたおもちゃが登場。ツキノワグマのノビタとナナは、このおもちゃがマイブームのよう。毎日遊んでいます。遊びに夢中になりすぎて破壊してしまうほど！



穴を開けた木材と氷漬けにした果物  
=1月18日

# 突撃!! インタビュー



坂元秀行さん (53)

このコーナーでは働いているスタッフにスポットを当て、普段聞くことのできない裏話やエピソードを突撃取材!  
①||リポーター、②||坂元さん

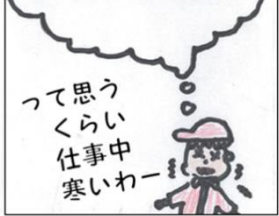
①

第5回突撃インタビューは、この道一筋30年の坂元秀行飼育員にお話を伺います!坂元さんは北海道出身でしょうか?

②

出身地は兵庫県神戸市です。道外出身なのでですね!30年以上勤めているということは、北海道の生活の方が長いということですね。海を越えてまで飼育員になりたいと思ったきっかけは何ですか?

## のぼり劇場 Dr.M



③

小学生のときから動物園が好きで地元の動物園によく通っていました。そのころから飼育員になりたいと思っており、卒業文集にも志しをつづりました。しかし、中学校卒業のころに船乗りの道を目指そうと思いましたが、さすが、航海士は視力が一定以上必要なため諦めました。そしてまた、飼育員の道を目指しました。紆余曲折し、今があるのですね。これまで何百頭というクマを飼育してきた中で、特に思い入れのあるクマはいますか?

④

一番好きなクマは、エゾヒグマの「クララ」です。入社して3年目に生まれたクマで、当時行われていたアイヌの儀式「イオマンテ」を再現するイベントに参加していたクマです。他のクマとは違い個別飼育していたため、クララとはとても仲良しでした。あと、入社当時のボスグマ「フミオ」

⑤

も思い出深いクマです。クララへの熱い思いが伝わってきました...!当時はそのようなイベントがあったのですね。では他の質問ですが、大変な仕事は何ですか?

⑥

昔はもっとたくさんクマがいたので、飼料の調達が大変でした。また、若いころは平気だった力仕事も、最近は大変になってきましたね(笑)。あと、冬の除雪作業も大変です。とても大変そうです。飼育員の仕事は動物の仕事だけではないのですか?では、楽しい・嬉しい作業は何でしょうか?

⑦

クマの解説です。お客様が熱心にお話を聞いてくれたときは、とてもやりがいを感じます。あと子グマが生まれたときは、とてもうれしいです。飼育員と同時に学芸員でもある坂元さんのお話は、とてもためになります!今年も子グマが生まれてくれるといいですね。では、最後にひとことお願いします。

⑧

プライベートで手話を学んでいるので、聞こえない方には手話で解説もしています。園内で見かけたら、遠慮なく声をかけてくださいね!

⑨

冬季閉鎖している子グマ牧場を活用するために散水したところ、想像以上の作品が誕生しました。散水は12月31日から開始し、1月8日まで行いました。3日ほどで形になり順調かと思いきや、氷柱が折れるなどトラブルに見舞われましたが、無事に完成しました。展示は氷柱オブジェが溶けるまで行います。山の冷えこみが生んだ天然の芸術作品をご覧ください!

⑩

お話を伺っています!園内で見かけたら、遠慮なく声をかけてくださいね!

⑪

園内で見かけたら、遠慮なく声をかけてくださいね!

## 氷柱オブジェ「くま牧場が凍りました」



1月9日から子グマ牧場に氷柱オブジェが出現しました。その名も「くま牧場が凍りました」。子グマが飼育されていた展示場が、北海道の厳しい寒さで別世界になりました。

冬季閉鎖している子グマ牧場を活用するために散水したところ、想像以上の作品が誕生しました。散水は12月31日から開始し、1月8日まで行いました。3日ほどで形になり順調かと思いきや、氷柱が折れるなどトラブルに見舞われましたが、無事に完成しました。展示は氷柱オブジェが溶けるまで行います。山の冷えこみが生んだ天然の芸術作品をご覧ください!